

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>◎質疑内容</p> <p>◎「市長への手紙」に対する「回答書内容に欠落」があるので、添付参照検証資料・A3→15枚を添付して、再度質疑する。 (広聴発・第90号第88号第89号・H27.8.18付、大西市長サイン入り回答2通。)計5件受領後の質疑。</p> <p>1. 五反バス停・旧春日寺前バス停を一日も早く復活させていただきたい。 1) 熊本駅西地区まちづくり協議会、合意事項、答申による「まちづくりの原則」 ・まちづくりの原則→まちづくりにあたっては、以下の3つの原則を堅持しながら、作業を進め、後世に誇れるまちづくりがおこなわれることに期待したい。 (1) 住民が住み続けられる安心で住みよいまち (2) 健康・安心で老人にもやさしいまち (3) 環境に配慮したまち まちづくり三原則を遵守して五反バス停、旧春日寺前バス停の復活を一日も早く実施していただきたい。 ※このまちづくり三原則を遵守しない理由が欠落している。</p> <p>2) 熊本市は「長寿社会まちづくり計画」の中で、B・高齢者にとってもを移動しやすい環境の整備が掲げられている。熊本市議会に於ても、高齢者等の移動権確保を議会決議されている。この計画等を無視しても良いとする理由の回答が欠落している。 大西市長も蒲島県政に長年席を置いておられたが、「くまもとの夢4ヶ年戦略」策定に参画しておられるが、「長寿安心くまもと県政理念確立?」、「熊本県見守り応援隊→高齢者等が安心して地域で暮らせるように見守り応援隊結成」の県政理念をただのお飾りでなく、遵守するのであれば、即両バス停の復活を実現していただきたい。 遵守しなくても良いとする理由が欠落している。</p> <p>3) 熊本市公共交通基本条例基本理念→市民は日常生活及び社会生活を営むために必要な移動をする権利を有するとの理念を尊重とある。 更に、公共交通により円滑に移動可能な地域社会の実現ともある。 これらの、市政理念を、五反バス停・旧春日寺前バス停を剥奪された春日4丁目周辺住民約千二百余名の中の高齢者交通弱者等のために復活させていただきたい。 ※熊本市公共交通基本条例基本理念を遵守しなくても良いとする理由が欠落している。</p> <p>4) 添付参照熟視資料、両バス停剥奪P1～P5を見ていただきたい。 P1を見ていただくと、春日陸橋が新幹線高架橋新設の為、今までのバス運行道路が、熊本県事業主「迂回付替え道路新設」を古道踏切りを渡り、右折して清水寺下に到達し、両バス停が維持確保されていた。 しかし、九州新幹線全線開業一週間前になって古道踏切りを渡り右折せず新設春日池上線を直進した。理由は、「交通管理者(熊本県警)が危険だから直進しなさいと言われたから。」との事であった。その後、私は熊本県警交通管理者と面接し、何度も確認したが、「危険だから直進しなさい」などとは言っていない。会議録も何も無い。不存在を確認している。</p>	<p>五反バス停、春日寺前バス停があった区間のバスルートに関しては、九州新幹線事業と連続立体交差事業の施行に伴い、春日陸橋が撤去された関係で、新設道路である春日池上線にルートが変更となった。両バス停については、集約し移設を行ったものである。 ご意見いただいた、上りと下りのルートを分けた運行の可能性について、今回バス事業者に聞き取りを行ったが、「バスルートの変更を行うことは考えていない。」との回答であった。 上りと下り両方の旧バスルートの復元については、道路構造上新たな用地確保が必要であることや交通安全の観点から極めて難しく、両バス停の復活は困難であることをご理解いただきたい。</p>	都市建設局	熊本駅周辺整備事務所

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>熊本市が一方的に決定し、新幹線熊本駅前西口広場にバス停留所を新設し、スピードアップを図る為に、住民の公共交通利用権を剥奪し、福祉向上どころか福祉維持すらしない公共事業主理念である。わざわざ、新幹線熊本駅前に路線バス停留所を新設しても、誰も利用されず、1年で廃止となったルートである。両バス停では、朝夕は通勤通学等利用客で満杯であったが、今は1時間に1本程度の運行で、空気を運んでいる。</p> <p>550mの過疎地を解消させ、公共交通利用権復活を求める。「交通管理者」とのやりとりの中で、熊本市が右折を拒否するのであれば、直ぐにでも実現可能な事として、下り(西区役所方面)の走行バスはそのままにして、上り(交通センター方面)は春日交差点を真っ直ぐ運行させ、従来の五反・旧春日寺前バス停を片側路線運行を要請すべきでしょうとのアドバイスを受けた。「『交通管理者』としては何も問題はありませぬ。」との解決策をいただいた。</p> <p>※早急に、大西市長の政治的判断で決着をつけていただきたい。</p> <p>その後、熊本市担当者が明言提出した、一両バス停剥奪、P2～P4一の添付参照資料、道路形態検討案(春日池上線暫定形・完成形)の赤線部分を金をかければ右折の不可能はなく、両バス停の復活は可能と確認済とのこと。即刻、予算を付加していただきたい。今までの怠慢不作為を即刻改善して、汚名挽回をしていただきたい。</p> <p>※このことについて、何の回答記述も無い。的確に回答していただきたい。</p>		都市建設局	熊本駅周辺整備事務所
	<p>2. 春日校区住民の避難場所が、春日小学校体育館と森都心プラザの2ヶ所が指定されており、「がけ崩れ・土石流・地滑り」等の発生する可能性のある場合は、森都心プラザに避難しなさいとのことであり、地震の場合は、春日小学校体育館でも良いとのことであり、地震の場合も土石流・地すべり等は発生する可能性が大である。非常にわかりにくい避難指定となっている。</p> <p>更に、その森都心プラザも、何階のどの部屋なのかも、周辺の被害状況を判断して、決めるとのことである。事前に避難する重要な意味を持つのに、春日校区住民避難は、被害がはっきりしてから避難しなさいとのことなのかと呆れている。</p> <p>大西市長も、市民住民の安全安心は、これで良いとの防災減災の市政理念だろうか。一刻も早く安全を確保すべきではないだろうか。</p> <p>※ どこに避難すべきか回答がないため、熊本市情報公開・個人情報保護審議会に諮っているが、熊本市政執行責任者としての見解を求める。</p>	<p>熊本市地域防災計画において、国、県が公表したデータに基づき災害種別ごとに指定緊急避難場所を指定している。また同計画には「指定緊急避難場所として使用する際は、災害の規模、性状、状況等により異なることから、避難施設や周辺の被害状況等の安全に留意し、開設の可否を判断する必要がある。」としており、開設不可能又は開設に適さないと判断した場合は近隣の安全な避難場所を開設し市民へ周知することとしている。</p> <p>その基本的な考えに基づき、春日小学校及びくまもと森都心プラザについても災害種別ごとに指定している。そのため、学校の一部が熊本県の指定する急傾斜崩壊危険箇所に含まれている春日小学校については、「土砂災害」時の避難場所としては指定していない。一方、同校舎及び体育館は耐震化工事も完了しており、「地震災害」時には避難場所として指定している。くまもと森都心プラザは土砂災害が発生する恐れのある場所として、県が公表した区域等に含まれていないため、「土砂災害」時の避難場所として指定しているため、ご理解いただきたい。</p>	総務局	危機管理防災総室

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>3. 在来線熊本駅舎解体跡地には、トップダウンで決定した「武者返しの壁」29億1千万円建設費の新駅舎でなく、平成27年3月23日(月)発表した。JR九州(株)の開発構想の複合商業ビルを新設し、博多シティ・鹿児島中央フェスタ・小倉ステーション・長崎フェスタ・大分シティ程度の規模を正面に、新熊本駅舎として新設すべきである。</p> <p>「武者返しの壁」では、新幹線熊本駅在来線熊本駅乗降客利用者等は素通りして、次の目的地に向かって拡散してしまい、爆買まではいかなくも、地域経済投資効果が期待できない。新幹線熊本駅前西口広場周辺の300億円公共事業投資効果の二の舞を来すことになる。</p> <p>JR九州(株)の構想、複合総合ビル新設を中央部分にずらすことによって、細長い0番線客留線跡地に、熊本市指定サブターミナルを新設することによって、交通結節、観光結節機能が、より充実する。熊本市電熊本駅乗り入れに対して、大西市長は、「歩行者、自転車の安全確保や駅前広場の自由な往来が制限されるという課題に解決策が見いだせていない。」として断念しておられる。「武者返しの壁」の前にサブバスターミナルを新設するためには、現在の大屋根何本もの支柱と森都心プラザへの跨道橋エレベーター・エスカレーター等の支柱等も大きな障害物となり、サブバスターミナル新設・交通観光結節機能が欠落することになる。「武者返しの壁」新設では、「トイレ」の新設もままならず、汚名挽回は不可能である。</p> <p>大西市長は、「東口駅前広場計画を見直す」とのことであり、協働のまちづくり、市民参画、情報共有等の市政理念を発揮して、公開の場で計画を見直していただきたい。</p> <p>※大西市長は、熊本市憲法・熊本市自治基本条・自治の基本理念等・市民参画・情報共有・協働のまちづくり等の理念を尊重し、大西市長の得意とする、ワークショップ等を開催し、市民と市議会と行政と一緒に東口駅前広場整備をする構想があるのか伺う。</p>	<p>本市で進めている熊本駅白川口駅前広場の整備に関しては、熊本県で実施された駅前広場整備の計画を引継ぐとともに、熊本市の重要な広域交通拠点として、本市で位置付けたバスのサブターミナルとしての機能を備え、分かり易いバス乗降場の配置やトイレの設置等、利用者の利便性が高い、機能的で開放的な駅前広場として整備を進めていく。また、熊本県で築造されたペDESTリアンデッキなどの各施設との調和にも配慮した計画とする予定である。</p> <p>なお、計画に際しては、アンケート調査等を実施し、広く市民や駅利用者の声を伺い進めていきたい。</p> <p>また、JR九州による開発については、自社用地での計画が進められているが、これらの事業とも連携を図りながら、人々が集い、賑わいあるまちづくりを進めていきたい。</p>	都市建設局	熊本駅周辺整備事務所
	<p>4. 平成27年8月23日(日)午前6時から、田崎迂回路が通れなくなり、仮踏切で遮断され、熊本駅城山線の車が仮踏切りを渡らず、田崎春日線に拡散し、春日小学校正門前を通り抜ける車が、平成30年まで氾濫することが予測される。</p> <p>この地域は、風致地区・花岡山万日山の裾野に展開する、第一種住居地域であり、数々の幹線道路等が新設されて、大気汚染・騒音・振動等にさらされて、日常生活環境影響が激変し、健全な環境生活とは程遠い生活を送らされているにもかかわらず、熊本市事業主による公共工事施行では、環境影響調査説明責任は、今まで一度も説明責任を果たしていない。</p> <p>今回の仮踏切による車両氾濫により、今までの大気汚染等の複合環境悪化が更に加速し、盆地状に居住する市民住民には健全な日常生活環境なのか。環境評価調査説明責任を果たすべきである。浮遊粒子状物質・二酸化酸素炭素等は、一定の高さに滞留し、競合融合して、一定の比重になれば落下して人体に悪影響を与える物質である。</p> <p>大西市長は、諸々の環境条例等を遵守する意識があれば、即刻、大気汚染等、環境評価影響調査説明責任を果たすべきである。</p> <p>7月14日の熊本県熊本市主催の説明会では、どれだけの数量の車両が拡散して、どのような環境影響を来すか、判りませんとの杜撰な回答であった。即刻、環境影響調査説明責任を果たしていただきたい。</p> <p>※市長の回答では、幹線春日池上線の事業主熊本県が、春日池上線新設だけを想定したから、環境基準以内だから事足りるとの杜撰な回答であるが、春日池上線だけの沿線地域を基準とした環境影響調査であり、花岡山万日山に囲まれた盆地状の第一種住居地域が、田崎春日線拡幅員工事、熊本駅西口線、区画道路延長5,600m、熊本駅南線新設予定、駐車場氾濫、車の氾濫騒音振動大気汚染等が、複合競合した環境最悪を招いているにもかかわらず、春日池上線がまだ余裕があるから安心と言えるのか。拡散台数も分からない状態で、あまりにも無責任とは思わないか。欠落した回答内容に 大西市長の見解を求める。</p>	<p>本市が実施する公共事業については、熊本市公共事業環境配慮指針（以下、指針）に則って、環境への配慮を行っている。</p> <p>当該事業（都市計画道路事業熊本駅城山線）は、指針における第2種事業（指針P.19）に該当するが、事業着手時期が平成20年度であり、指針策定前に事業に着手していることから、事業構想・計画段階ではなく、個別工事の設計施工段階から指針に基づき環境配慮チェックシートを作成するなど、環境配慮を実施しているところである（指針P.20）。</p> <p>よって、当該事業については、指針に基づいて環境に配慮しながら事業を進めていることから、現時点では、環境影響調査等の実施は考えていない。</p>	都市建設局	熊本駅周辺整備事務所

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>5. 平成27年8月18日(火)での「ドンドン語ろう！ in南区」での市長の答弁と昨年の回答書内容にも欠落があり、熊本市長として、「第2次都市マスタープラン」に対する重大な認識不足の為、再度質疑するので、市政執行理念に基づき、適正な回答を求める。</p> <p>熊本県農業試験場跡地のD区画に近接した地域に「西熊本駅」が、来春開業する。この駅前広場は、3,900㎡との事。バス2台、タクシー8台、一般車10台程度の駐車場が新設されるとのこと。</p> <p>熊本県市は、鉄軌道と公共交通機関との交通結節機能の充実を公共交通指針としており、この地は、パークアンドライドとして、国道3号線、57号線港線、市道を走る路線バスをこの地に、「ミニバスターミナル」としての位置づけを図り、コンパクトシティの中継地点として、鉄軌道と公共交通機関の接続により、パークアンドライドの西南地域核の発展、拠点を確立できる重要な多核拠点となる。</p> <p>そのためにも、西熊本駅前に近接する熊本県所有D区画を住宅団地土地利用でなく、熊本市が譲り受け、熊本県熊本市の五十年百年の大計のために取得すべきである。熊本市が金欠で取得できないならば、長期賃貸借地して利活用すべきである。</p> <p>阿蘇くまもと空港からJR肥後大津駅までの交通結節のためのタクシー利用に補助金交付で毎年支援しているが、阿蘇くまもと空港から西熊本駅まで、リムジンバスをピストン運行させれば、熊本県の補助金交付支援が不必要となり、経費削減となり、熊本県がD区画を熊本市と無償賃貸借地契約をしても、熊本県民市民には異論はないはずである。</p> <p>貴重な熊本県市の財産の「この地・九州の臍」を両首長がいかにも有効に活用し、県市の将来の発展に結びつけるかは良識の府として知識能力の発揮以外にはない。熟慮すべき時である。この地は、高速時代の三種の神器であり、くまもと阿蘇空港→九州高速道路IC(益城IC)→西熊本駅→在来線新幹線熊本駅と直結しており、更に、熊本港とも直結しており、高速時代の四種の神器となり、全国比類なき巨額血税投資済み、社会基盤整備済みの九州の臍、中心点に位置している。</p> <p>また、→巨大公共施設、アクアドーム→グランメッセ→パークドームも直結しており、→基幹巨大医療機関、日赤熊本病院→熊本市立市民病院→中央病院→済生会病院→とも国道57号線等で直結しており、現在はこれらの医療機関を結ぶ、私の提案を活用し、路線バス・東バイパスライナーが運行されている。</p> <p>現時点では、この東バイパスライナーだけが、西熊本駅駅前広場に鉄軌道との交通結節とのことであるが、市道、国道3号線を運行中の路線バスも結節すべきであり、コンパクトシティに熊本市が本気で取り組むのであれば、コンパクトシティ指定、島町上ノ郷と城山地区を路線バスで結ぶべきである。</p> <p>これらの地理的立地条件の優位性を総合的に熟慮し、みすみす逃し、千載一遇の絶好の機会をドブに捨て、無能振りをさらけ出したら、後世の末期の代まで大失政として、後世に名を刻むことになることと危惧する。投資対効果を発揮させず、県民市民の貴重な財産を活かしきれない首長は、リーダーとして資格喪失と言わざるを得ない。今後の意識改革の良識の府となることを期待したい。</p>	<p>西熊本駅の東側にあるD区画については、これまで熊本県において利活用について検討されてきたところであり、本市にも平成25年4月と8月に取得希望の調査があったものの、市が主体となって利活用する計画はないと回答させていただいたところである。</p> <p>また、利活用策の一つとしてご意見をいただいたバスターミナルなどとしての活用については、現在計画中の駅前広場などにはバスやタクシーの乗降場をはじめ、送迎用の駐車スペースや高架下に駐輪場を配置するなど駅前広場として必要な機能を確保することとしており、また駅利用者向けの駐車場についても、JR九州が需要を見きわめつつ、必要に応じて高架下に整備を検討されることとなっていることから、本市がD区画を活用して駐車場等を整備することは考えていない。</p> <p>しかしながら、ご意見いただいたようにD区画の土地利用については、地域の方々の強い思いもあることから、本市としても地元で議論されていることを改めて県にお伝えするとともに、引き続き地域拠点としてふさわしい土地利用が図られるよう働きかけていく。</p> <p>また、西南部地域における新たな交通結節点となる西熊本駅予定地は、JR鹿児島本線と東バイパスから熊本港につながる主要地方道熊本港線の交差する交通の要所に位置することから、駅前広場に東バイパスライナーを乗り入れて結節を図り、JRとバス相互のスムーズな乗りかえが図れるように、今後、バス事業者との協議を進めていく。</p> <p>【交通政策総室】</p>	都市建設局	都市政策課 交通政策総室

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	①待機児童の問題で、小学校の育成教室に幼稚園教諭や保育士を配置して対処すればと思う。 ②春日池上線の春日3丁目側の中央部横断歩道に右折箇所を作ることを条件に土地区画整理事業の立ち退きにサインした。これは、土地区画整理事務所長との約束なので実行してほしい。 歩道の杭を撤去してほしい。	待機児童の解消は本市の喫緊の課題であり、現在、保育施設の整備や保育士の確保等の対策に取り組んでいる。認可保育施設として運営するためには、保育士の配置に加え、園児1人当たりの面積の広さや乳幼児用のトイレや沐浴室等の設置、更には給食の提供、採光、換気等の保健衛生面への配慮など、設備や運営に関する基準を全て満たすことが必要であり、ご提案の小学校教室の活用については課題があると考えている。 祇園橋際から池上町方面へ向かう春日池上線は、現在、片側1車線にて暫定供用しているが、完成形は片側2車線（計4車線）となり、鹿児島本線との交差付近から春日小学校前を通る田崎春日線との交差点までの約370m区間については、計画交通量に対する安全性確保の観点等から、中央分離帯を連続して設置する計画である。 今回のご意見については、関係機関等とも協議、検討を重ねてきたが、これまでにご意見いただいた際にも説明してきたとおり、当該右折箇所については、道路構造や安全性確保の面から、どうしても設置ができない状況であり、また、歩道上の車止めについては歩行者の安全性確保に必要な設備であるため、撤去することは困難であることをご理解いただきたい。	健康福祉子ども局	保育幼稚園課
3	家の近くを散歩しているが、タバコの吸殻、空き缶、ごみ袋が散らばっている。 一人ひとりが心がけないと、きれいな町にはならないと思う。小さなことだがお願いします。	本市では、熊本城築城400年を迎えた平成19年に、観光都市にふさわしい安全で快適な都市環境の形成を図ることを目的として「熊本市路上喫煙及びポイ捨ての禁止等に関する条例」を制定した。 これまで、条例については、市政だより、ホームページ及び家庭ごみ・資源収集カレンダーで広報を行い、また、自治会等から依頼があればポイ捨て防止用の看板を配布し啓発に努めているところである。 しかし、ご指摘のとおり、いまだにポイ捨てによりごみが散乱している光景が見受けられることがあるため、今後とも継続して条例の広報・啓発に努めてまいります。	環境局	ごみ減量推進課
4	新聞で、熊本市電を熊本港までという構想が上がっていたが、現在、熊本駅から熊本港まで運行している路線バスは回送バスと見間違えるほどガラガラ状態である。 市電を動かすには、多額の建設費がかかる。2025年問題以降、団塊の世代が亡くなった以降、急激な人口減少により税収が減る中、維持していくのは困難。 東京23区の中ではコミュニティバス（20人乗り程度）が走っており、300mごとにバス停があり、高齢者の方がバス停で乗り降りし、スーパーや病院の前で止まり、便利である。コスト面でも大変いいと思う。 足のない高齢者が外出するということは高齢者支援につながり、要介護状態にならないためにも必要と思われる。人口はどんどん減っていく。ハード面の整備よりソフト面の充実をお願いしたい。中長期的な人口推移を見据えた計画をお願いします。後世に“無駄”と言われないためにも。	熊本市では、平成25年4月に「熊本市公共交通基本条例」を制定し、その中で、最寄りのバス停等から1,000m以上離れた地域を公共交通空白地域、500m以上離れた地域を公共交通不便地域、その他、地形や高低差等により、不便地域と同様と市長が認めた地域を公共交通準不便地域と位置づけ、これらの解消にあたっている。 現在、空白地域に15路線、不便地域に1路線のコミュニティ交通を導入している。 【交通政策総室】 高齢者の方々へ外出をしていただき、生きがいを持って活動をしていただくための支援としては、サロン活動、老人クラブ活動の支援や、老人福祉センターや老人憩いの家等の高齢者の活動拠点となる施設の活用促進を図っているところである。 また、高齢者の方々への外出支援として「さくらカード」があり、カードを提示いただくことで市の文化施設や体育施設等の一部が無料でご利用いただけるほか、おでかけ乗車券（H28.3以降は、おでかけICカード）と併用いただくことで市内を運行する路線バス、電車を2割の負担額で利用していただくことができる。 更に、さまざまな理由で外出が難しい高齢者に対しては、地域包括支援センター（ささえりあ）と民生委員が連携し見守り活動による声かけ活動等を行っており、さらに中学生によるジュニアヘルパーの高齢者訪問での見守り活動等にも取り組んでいる。 【高齢介護福祉課】	都市建設局 健康福祉子ども局	交通政策総室 高齢介護福祉課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	①現在、私も社会福祉協議会のサポーターとして高齢者の実情を見ており、高齢者の増大から要望する。中央・東・西・南・北の各区において、高齢者部落（例、ハンセン病（隔離なし）恵楓園型）、町型（商店街、多目的会場他設置）など、さまざまな取り組みはあるが、高齢者増大により各施設の待機者が増大していることから、県市営住宅に高齢者が優先的に入居できるようにするなど、対策をお願いしたい。	市営住宅の入居については、公募を行い、抽選により入居者を決定しているが、市営住宅の1階部分は、特定目的住宅として高齢者、障がい者に限定し募集するとともに、同一団地の一般住宅との併用申込みも認めている。 また、一般住宅を希望される高齢者世帯には、抽選券を2枚渡すことで、当選確率を高くし、高齢者が市営住宅に入りやすい施策を行っている。 なお、県営住宅については、熊本県に個人情報を除いて情報提供した。	都市建設局	住宅課
5	②城山公園運動施設（旧西部スポーツセンター）は、アクアドームがあることから使用法なくできたもの（5万㎡）。	城山公園運動施設（旧西部スポーツセンター）は平成22年度から拡張工事を行い、平成26年4月から供用を開始している。テニスコートやジョギングコース、多目的広場などを新たに整備した公園となっている。	観光文化交流局	スポーツ振興課
	③高齢者の安全が声高に言われるが、その実情はというと、高橋町半田1号線の赤橋は、幅2mのうえに急勾配のため自転車で上ることはできない。自転車で上るには、5度が限度である。高齢者に対しても、責任感をもって対応すべきである。河川で、船舶が往来する場所以外に架かる橋は、一般道より高さを重視することは不要かと思う。	ご意見の箇所は、市道上高橋町今町第1号線（通称：赤橋）のことかと思われる。施工時に沿線宅地や道路取付等による現場条件があり、その中で道路として必要な機能を確保したことから、現況の勾配となったものである。 今後も、安全で通りやすい道づくりに努めていくので、ご理解とご協力をよろしくをお願いしたい。	都市建設局	西部土木センター 工務課
6	熊本市は上通、下通周辺の一極集中型になり、商工経済圏としては成功したかのように見えるが現状は不景気で経済環境は良くないと思う。西区は大型工業生産圏域がない。周辺自治体は工業関係の核を持ち、安定した生活居住と経済効果をもたらしている。 西区においては、中山間地区及び農業生産従事者が点在するとともに、漁業従事者が限定された地域に点在する半農半漁、昔ながらの生活環境の中で生計を営んでいると思われる。 西区の一部では政令指定都市でありながら、人口減少による過疎化が進み、放置された家屋などが多くなり景観が良くなり、今後、限界集落型、生活困難地域が発生すると考えられる。 熊本市だけでなく近隣自治体と共同した広域都市圏を構築し経済効果の安定を期待する。 熊本城を世界遺産に推進するとともに、藤崎台球場を移転し大型のスポーツの振興を図る計画は無いのか。たとえば熊本県スタジアム付近に野球場を移動する国立病院を富合、城南地域に移転し熊本県広域型重要診療拠点とする。 市街化調整区域を広範囲に設定し今後のまちづくりに期待する。 熊本新港利用促進についてはバックヤード等の改善が必要。業者のわがままで砂、砂利等の野積み、コンテナ等見た目の環境が良くない。外国から来るお客様に対しては歓迎するには環境が悪い。 砂などの堆積物があり通年浚渫しなければならない。干満の差が激しいので、大型船の寄港は接岸バース等の整備が遅れており、大型船の寄港は望まない方がよい。外国の経済効果は衰退すると思う。 できれば、現行の熊本港周辺を埋め立て熊本ハブ空港を新設してほしい。これからの海外輸出を考えた場合、熊本だけにしかない冷凍コンテナ施設を作り産地直送し航空貨物拠点としての基盤整備を考えていただきたい。 これからの熊本市民が平等に安心安全を担保し、今後の50年の都市計画を行政がどのように展開して行くのか、特区を作り集中的に推し進める戦略も必要かと思う。 自然環境に恵まれた熊本市においては、地球温暖化防止対策に対して、焼却分別、埋め立て等に於いて市民の協力の下目標を達成し扇田処分場の延長使用ができることについて大変喜ばしいことだと思う。	近隣市町村との連携については、現在、近隣の13市町村と「熊本都市圏協議会」を設置し、さまざまな広域事業を展開しているが、人口減少・少子高齢社会に対応するため、今後、更なる連携の強化を図っていく。 具体的には、圏域内の経済の成長や都市機能の集積・強化、住民の利便性の向上を目的とした連携中枢都市圏構想の実現に向け、目下近隣の16市町村と準備を進めているところである。 【政策企画課】 硬式野球場の移転・新設については、現在藤崎台球場のあり方について県の担当課と事務レベルでの検討を行っているところである。同球場の課題について、具体的に整理を行っているところであり、移転・新設について現時点ではお答えできる状況にはないのでご理解いただきたい。 【スポーツ振興課】 国立病院は、平成21年に現地で建替えられており、当面、移転の予定はないと思われる。 【医療政策課】 熊本港は、背後地に人口100万人を擁する熊本都市圏における物流拠点の役割を担うとともに、人流拠点としても熊本都市圏の観光や経済を支える重要な都市基盤施設であることから、今後とも、港湾計画に基づいた着実な整備が図られるよう、国や県に対し要望していきたいと考えている。 【交通政策総室】 いただいたご意見のとおり、本市の埋立処分場である扇田環境センターは、その寿命を平成39年度から平成60年度まで延ばすことができた。これは、市民の皆様にごみの減量化に真剣に取り組んでいただいた成果であり、感謝の念に堪えない。また、現在は埋立ごみ破碎による金属回収にも力を入れるなど、更なる延命化を目指して取り組んでいるところである。これからも引き続き皆様のご協力をお願いしたい。 【廃棄物計画課】	市長政策総室 観光文化交流局 健康福祉子ども局 都市建設局 環境局	政策企画課 スポーツ振興課 医療政策課 交通政策総室 廃棄物計画課

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	私達夫婦もだが、周りも高齢者が多く、周りの方々とは1日中お会いすることのない日もある。 私は、田崎ふれあい会という会に入り、いろんな方々とふれあう機会をいただいたが、男性である夫はなかなか人の中に入って来れない。これから2人共年をとっていくので、周りとの助け合いが大切であることをつくづく思うようになった。 思いやりの心で声を掛け合う近場に、年金者でももっと出会いの場を設けてほしいと思う。	高齢者の方々に外出をしていただき、生きがいを持って活動をしていただくための支援としては、サロン活動、老人クラブ活動の支援や、老人福祉センターや老人憩いの家等の高齢者の活動拠点となる施設の活用促進を図っているところである。 また、さまざまな理由で外出が難しい高齢者に対しては、地域包括支援センター（ささえりあ）と民生委員が連携し見守り活動による声かけ活動等を行っており、さらに中学生によるジュニアヘルパーの高齢者訪問での見守り活動等にも取り組んでいる。 今後も、高齢者の方々が気軽に声を掛け合えるような場作りに向けて取り組んでいく。	健康福祉子ども局	高齢介護福祉課
8	次の世代に伝統や文化を継承する事は、日本の国民として、とても重要な役割だと思っている。 その観点から、現在開催されている民謡大会は大きな役割を担っているにもかかわらず、これまで行政からの助成金が切られている。 9/20に五福交流センターで開催予定の「おてもやん大会」も、助成金がなくなったということで、参加費が大人3000円、子ども2000円と大幅に上がり、参加申込が少なくなっているようだ。 個人的には、お金の助成をするのではなく、会場を無料で提供することで、多くの事業・行事の開催が容易になるのではないかと思う。安易なお金の助成は、財政の困窮や誤った用途を生み出す心配もあるので、行政の施設の貸出等で負担の軽減ができれば、当初申し上げた、伝統継承の支援になると思う。 来年から「おてもやん大会」開催が危ぶまれていることを知って、せめて森都心プラザのホール等を無料で貸していただければ継続できるのではと思う。	「おてもやん」については、昨年まで、お城まつりイベントの一環として五福公民館で参加者約100名のコンクールを開催し、入賞者にはお城まつり二の丸メインステージでご披露いただいていた。 「お城まつり」の各種催事の本来の目的は、熊本城を中心とした観光客の誘致であり、質の高い本物志向の催しを提供することとしている。 「おてもやん」に関しては、ここ数年、参加者が観客という状況が続いており、本来の「お城まつり」の目的である、熊本城への誘客の面が課題となっていたことから、今年は、コンクール開催及び入賞者の決定を関係団体で実施していただき、選ばれた入賞者の方々の「おてもやん」を二の丸メインステージでご披露いただくこととした。 本年は、「熊本城芸能の祭典」と銘打ち、「おてもやん」をはじめ山鹿灯籠踊り、天草ハイヤなど、郷土熊本を代表する芸能を二の丸メインステージに集約することで、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう開催したところなので、何卒、ご理解いただきたい。	観光文化交流局	熊本城総合事務所
	①松尾3校（小学校）と小島小の統合が決まり、益々人口減、高齢化に加速がかかると思うが、住みやすい町づくりのために、きちんと予算を確保してほしい。	平成26年度に「西区まちづくり推進経費」を2千万円に増額し、区の特性を活かしたまちづくりに取り組んでいる。 今後も、必要な予算を確保しながら、区民の皆様が安全で安心して心豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいく。	西区役所	総務企画課
	②国道501は、1車線のため、事故等で1度渋滞すると数時間車が動かない。湾岸道路建設も、県で上がっていると思うが、市からも強く県や国に働きかけてほしい。	国道501号は、片側1車線で道路幅員も狭く、大型車の通行も多く歩道も部分的に未整備となっていることから、早期の安全で円滑な交通の確保に取り組んでいるところである。現在、西区中島町から南区銭塘町の区間について一部現道の改良を含むバイパス整備を進めており、完成すれば現道の交通量が減少し渋滞も緩和すると見込んでいる。 有明海沿岸道路（Ⅱ期：大牟田市～熊本市区間）については、関係市町や県、経済界で構成する期成会（熊本市長が会長）により、国や国会議員への要望活動を実施しているところである。このような取り組みの結果、本年4月には三池港ICから長洲町までの区間約8kmについて都市計画決定され、うち三池港ICから荒尾競馬場跡地までの約2.7kmについて、県内初の事業区間として去る9月13日に事業に着手している。今後も、事業区間の早期供用と全線の早期事業化に向けて、関係機関と協力しながら引き続き国等へ強く訴えていく。	都市建設局	道路整備課
9	③西部地区は、空家が増え、防犯上も問題が多い。自治体として空家対策に職員を配置して、積極的にすすめてほしい。（若い人たちに住んでもらえるような）	空家の問題は、防火防犯、環境衛生など課題が多岐にわたることから、市民の皆様からの苦情相談等に迅速に対応できるよう、関係課で構成する「空地・空家等対策調整会議」のもと、全庁的に取り組んでいる。 【建築計画課】 人口が減少し、コミュニティの維持が課題となっている地域への定住を促進するために、空家の積極的な活用は必要だと考えている。 【西区役所まちづくり推進課】	都市建設局 西区役所	建築計画課 まちづくり推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	①福岡は、住みたい街日本一になったという。人が優しいということで人口も多くなっているようだ。鹿児島は県民一人ひとりで盛り上げるとのこと。それに比べて熊本はどうか。お互いを認めて助け合う市民になってほしい。	現在策定中の新しい総合計画では、「人と人がつながり、お互いに助け、支えあいながら、安心して暮らせる住みやすい地域を築くことが必要である」ということを、まちづくりの基本理念として掲げたいと考えている。 また、そのような地域づくりを進めるために、「直接市民と向き合い、地域の声を拾い上げ、市政に反映させていく」という「地域主義」の理念のもと、職員が市民の中に飛び込み、対話する機会を積極的に設けながら、市民と行政が一体となった取り組みを行っていくこととしている。	市長政策総室	政策企画課
	②私はボランティア活動をして14年目に入る。高齢者の健康のために筋トレ等、月8回活動している。 役所の方にも、地域に出かけて市民の目線でみてほしい。思いやり、助け合う地域になるよう願っている。	平素から積極的なボランティア活動を行っていただき、ありがとうございます。 区役所の職員も、今後一層、積極的に地域に出かけ、地域の現状や課題、まちづくりを担える人材等の把握に努め、まちづくりを推進していく。 【西区役所総務企画課】	西区役所	総務企画課
11	動物愛護センターの職員の残念な回答について 2年余り前、我家の畑にトマトを植えて実を結んだので、収穫する段になってみると鳥による被害のため収穫出来なかった。 そこで、動物愛護センターへ架電し、鳥の被害を伝えたと、どこにでもある話とだけ言い、次の言葉は「ダメです。法律に触れるので処罰されます。」旨の言葉だった。 私としては、鳥の飛び回らない環境では困ったものだと思うので、鳥を減らす方法があればと思い相談したわけです。その職員は知識はあっても教養のない人だと感じた。	鳥による被害のご相談をいただいたが、納得のいくご説明ができず大変申し訳なかった。 ご相談の鳥を減らす方法だが、カラスやヒヨドリなどの有害鳥獣は、防除しても被害がある場合に許可を得て捕獲できるよう定められている。金峰山でも猟友会の協力のもと銃によるカラス等の捕獲を実施しているので、再度動物愛護センターにご連絡いただきたい。	健康福祉子ども局	動物愛護センター
12	①熊本西区の水資源、命の水を生かしたまちづくり。私は水先案内人として、水守りの人達と河川の清掃を地域と行政と一緒にやっている。小魚、小鳥たち等、自然と共生のまちづくりを提案。	日ごろより、水辺の保全活動等にご尽力いただきありがとうございます。 西区は「平成の名水百選」金峰山湧水群を有し貴重な水資源が数多くある地域である。今後とも「くまもと水守」と連携し「熊本水遺産」等、熊本の水の発信と保全に努めてまいります。 【水保全課】 今年度、生物多様性地域戦略（仮称）の策定作業を行っている。 この戦略では、人と自然が共生するまちの実現を目標に掲げ、取組みの方向性や各主体の役割を整理している。地域戦略も踏まえ、今後も連携した取組みを推進してまいります。 【環境共生課】	環境局	水保全課 環境共生課
	②石神山、荒尾山、中尾山、金峰山、霊巖洞、峠の茶屋、西の武蔵塚、歴史文学の散策道路の整備と案内板を設置してほしい。	金峰山、霊巖洞、峠の茶屋界隈は、夏目漱石ゆかりのルートもあることから、観光案内サインの整備やルートのPRを行っているところである。また、それと併せて、ルートの一部のハード整備も行っている。 今後とも、観光ニーズを踏まえ、方策について検討していきたい。	観光文化交流局	観光振興課
	③文学碑の設置・充実、夏目漱石、小泉八雲、高浜虚子、清原元輔等の文学者の案内表示を設置充実してほしい。	観光案内サイン整備の一環として、標木タイプによる整備を行っているところである。整備については、観光ニーズを踏まえ、検討していきたい。 【観光振興課】 夏目漱石、小泉八雲、徳富蘆花等の熊本にゆかりの深い文学者については、記念館を設置し、顕彰を行っている。 また、より多くの市民や観光客に訪れてもらえるように展示のリニューアルも行っており、今後、企画展なども積極的に行いながら、情報の発信や普及に努めたい。 【文化振興課】	観光文化交流局	観光振興課 文化振興課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	④熊本新港を使ったイベントの開催、先の海の港まつりを参考にして毎年1回開催を希望する。花火大会も江津湖よりここに移して島原と花火合戦はいかがか。将来、大型船も寄港できる港づくりと有明海と有明の干満の差も観光資源、大型水族館と藤崎台球場の新港付近に移転希望。運動公園の整備。	<p>熊本市では、毎年、国民の祝日である「海の日」に、周辺地域や関係団体と連携し、熊本港のPRをかね、広く市民が海に親しむ機会として「熊本港フェスティバル」を開催しており、今年度は「海フェスタくまもと」として全国イベントにあわせ実施し、多くの来場者で賑わいをみせた。</p> <p>これを契機に、今後とも「熊本港フェスティバル」を通じ、より広く市民の皆様には熊本港、有明海の魅力を発信してまいりたい。</p> <p>【交通政策総室】</p> <p>この度の花火大会は、多くの市民の思いを受け本市主催として5年ぶりに開催したものであるが、「水の都」のシンボルである江津湖での花火大会は、本市を代表する大会として開催していきたい。</p> <p>【観光振興課】</p> <p>硬式野球場の移転・新設については、現在藤崎台球場のあり方について県の担当課と事務レベルでの検討を行っているところである。同球場の課題について、具体的に整理を行っているところであり、移転・新設について現時点ではお答えできる状況にはないのでご理解いただきたい。</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	都市建設局 観光文化交流局	交通政策総室 観光振興課 スポーツ振興課
12	⑤石神山公園を中心に熊本の第三の観光地化を。1日1,000人の集客から3年後、3,000人、5年5,000人目標にして、歴史文化と自然との共生のまりづくり。熊本のパワースポット石神神社、拝ヶ石、石が神様、石ころのあるところ道あり、意思のあるところ人の道がある。	<p>石神山公園は、市民の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的に総合公園として平成11年2月17日に都市計画決定を行い、その後、国庫補助金を活用し公園の整備を行い平成19年4月16日に供用を開始している。</p> <p>この公園の周辺には三賢堂、釣耕園、百梅園などの名所もあることから、この公園を中心とした観光地の整備について、観光政策担当部局と協議していきたい。</p> <p>【公園課】</p> <p>石神山周辺公園周辺は、叢桂園、釣耕園、三賢堂など風情のあるルートがあり、今後とも活用について観光ニーズを踏まえ、検討していきたい。</p> <p>【観光振興課】</p>	都市建設局 観光文化交流局	公園課 観光振興課
	⑥西回りバイパスの早期完成実現を。城西校区は、道路の整備が遅れている。県の道路完成が早いかもしれない。	<p>（都）野口清水線については、現在、起点の熊本市南区野口から島崎トンネルを抜けた（都）段山島崎線との交差点まで供用している。これより北側については、JR鹿児島本線連続立体交差事業に伴い実施している（都）池田町花園線と接続し、（都）花園池亀線、（都）上熊本駅西口線（西口駅前広場を含む。）、鹿児島本線側道整備といった事業と合わせ、上熊本駅西側地域の道路網の整備を行っているところである。いずれの路線も計画的に事業を進めており、事業完了は平成30年代前半を目標としている。</p> <p>一方で、熊本西環状線については、熊本県より事業を引き継ぎ熊本市において整備を進めており、西区花園7丁目から北区下観川町の4.1km区間と花園インター線についてH28年度末の供用を予定している。また、西区池上町から西区花園7丁目までの4.6km区間はH30年代前半の供用を目標としている。事業効果を早期に発現するために、今後も計画的に事業を進めていく。</p>	都市建設局	道路整備課
	⑦熊本の100万都市実現の前に各市町村との連携はグッドアイデアと思う。これを次の100万都市につなげ道州制のときに行政・観光の中心に。	<p>近隣市町村との連携については、現在、近隣の13市町村と「熊本都市圏協議会」を設置し、さまざまな広域事業を展開しているが、人口減少・少子高齢社会に対応するため、今後、更なる連携の強化を図っていく。</p> <p>具体的には、圏域内の経済の成長や都市機能の集積・強化、住民の利便性の向上を目的とした連携中枢都市圏構想の実現に向け、目下近隣の16市町村と準備を進めているところである。</p>	市長政策総室	政策企画課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>①バス待合について MICEのための現ビルの解体等でバスの乗降が花畑公園と現交通センターの間と発表されたが、旧合同庁舎を一時借用して、利活用するのはどうか。城彩苑も客が増える。</p>	<p>旧合同庁舎については、今年度は埋蔵文化財の事前調査を、来年度、財務局において建物の解体工事が行われる予定で、その後、特別史跡に追加指定されたのち、九州財務局から文化庁に所管換された後、熊本市が管理を行うこととなり、併せて埋蔵文化財の本調査も行う予定である。 合同庁舎の保存活用については、埋蔵文化財の調査結果や、来年度改訂予定の熊本城跡保存管理計画などを踏まえつつ、文化庁と協議を行い、多くの方々のご意見も伺いながら、特別史跡として相応しい整備のあり方について検討・事業実施していく予定である。 合同庁舎跡地を仮バスターミナルとして利用することは、このようなスケジュールを考えると、位置の制約、安全確保の上からも、また今後特別史跡としての整備を遅滞なく進めるためにも、難しいと考えている。</p>	都市建設局	交通政策総室
13	<p>②市庁舎第3ビル（旧貯金支局跡） 解体建て替えと聞いているが、その間フロアが不足する様であれば、市役所東側にある郵便局を借用するのはどうか。かなり空きフロアがあると思う。</p>	<p>花畑町別館については、平成13年度に実施した耐震診断において、耐震性が劣るとの診断がなされた。 これを受け、さまざまな観点から検討を行った結果、耐震補強は行わず、現在の建物を除却することとし、除却後には新たな施設整備を行う方針を定めたところである。 現在、除却に向けて、花畑町別館に入居していた部署については、ご提案いただいた場所ではないが、近隣の民間ビルを賃借し入居している。</p>	市長政策総室	政策企画課
	<p>③MICE計画時に一考 素晴らしい建物ができると思う。その計画で「現花畑公園」をなくす“現在には似合わない”現在利用者も見かけない、鬱蒼とした暗い公園、今回の新ビル等の計画で支障ではと考える。ただし、記念碑、大楠の樹がある。公園廃止を唱えると「反対」が出るかもしれない。移設先候補として①二の丸公園②借行社（専売公社）跡地等はいかがだろうか。</p>	<p>現在、花畑公園については、「桜町・花畑周辺地区」の一体的なまちづくりの一環として再整備を行うための準備を行っている。 そのような中で、花畑公園について移設すればとのご意見だが、当該公園は「桜町・花畑周辺地区」の中でまとまった緑と歴史を感じることでできる憩いの空間としての役割を担っていること、花畑屋敷と呼ばれた熊本藩主の邸宅跡地の一部でその面影を唯一残していること、更に熊本市の天然記念物に指定されている大楠もあり歴史的にも重要な場所であることから公園の廃止若しくは移転は考えていない。 今後、「桜町・花畑周辺地区」の再整備のコンセプト踏まえながら、周辺ビルとの調和がとれ、皆様が利用しやすい公園となるよう努めてまいりたい。</p>	都市建設局	公園課